

日本在宅医療連合学会

第3回

地域フォーラム

プログラム集

あ
ん
べ
い
い
未
来
へ

秋
田
か
ら
の
提
案

け

け

け

2021 9/4 土・5 日

け=食べて、来て

完全オンライン開催に変更となりました

主催 一般社団法人 日本在宅医療連合学会

共催 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

後援

秋田県 / 秋田市 / 一般社団法人 秋田県医師会 / 一般社団法人 秋田市医師会 / 一般社団法人 秋田県歯科医師会

一般社団法人 秋田市歯科医師会 / 公益社団法人 秋田県看護協会 / 社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会

一般社団法人 秋田県薬剤師会 / 秋田県病院薬剤師会 / 一般社団法人 秋田県介護福祉士会 / 秋田県中央地区介護支援専門員協会

河北新報社 / 秋田魁新報社 / ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送 / AtHome 介護と医療と在宅をつなぐ会

大会長 医療法人社団 隆仁会 秋田往診クリニック 理事長 市原利晃

第3回地域フォーラムタイムスケジュール

2021/9/4(土)

完全オンライン開催に変更となりました						
13:15~	開会式					
13:30~14:30	基調講演					
14:30~16:00	企画1 東北地方の 取組み	企画2 多職種連携	企画3 摂食嚥下 在宅NST	企画4 スピリチュアル ケア	企画5 ケアカフェ	企業展示
16:00~17:30		企画6 福祉施設での 取組み		企画7 訪問薬剤管理 ポリファーマシー	中止	
18:00~19:30	懇親会(秋田キャッスルホテル) 中止になりました					

2021/9/5(日)

完全オンライン開催に変更となりました						
9:30~11:00	企画8 医歯薬連携 ICT	企画9 秋田県での 取組み	企画10 災害対策	企画11 小児在宅 医療的ケア児 障がい福祉	企画5 ケアカフェ ACP	企業展示
11:00~12:30			企画12 リハビリ テーション		中止	
12:30~12:45	閉会式					
13:00~16:00	企画13 市民公開講座	※劇団による劇は中止になります				

会場周辺図



交通機関

● IRをご利用の場合 …… 秋田新幹線:東京→秋田=3時間49分/秋田駅より車で2分 ※秋田駅より徒歩で7分

完全オンライン開催に変更となりました

● 自動車をご利用の場合 … 秋田自動車道 秋田中央I.C.より10分

「あんべいい未来へ 秋田からの提案」

世界的な高齢化に先駆けて、秋田は高齢化社会を乗り越えなければならず、その取り組みはすでに始まっています。大都市で計画されているような体制の充実を待つことはできず、直面している問題を未来を見据えて解決しなければなりません。そこでは多職種連携の力が大きいと実感しています。そういった実情も含め秋田を通して見つめ直し、共有しながら皆さんと議論したいと考えています。

医療法人社団隆仁会 秋田往診クリニック 理事長 / 第3回地域フォーラム 大会長 市原利晃

プログラム詳細

基調講演

「あんべいい未来へ」

9月4日(土)13:30~14:30

完全オンライン開催に変更となりました

厚生労働省厚生科学課長、佐々木昌弘先生より、これから進む高齢化を乗り越えるために国は何を考え、今後どのように対応するつもりなのか、厚生労働省の立場からお話しいたします。

企画1

東北地方での取り組み

「明日の在宅医療 -東北の未来を見据えて-」

9月4日(土)14:30~17:30

完全オンライン開催に変更となりました

各地ですでに未来を見据えた取り組みが始まっています。それぞれの地域に合わせた活動について共有しながら、さらなる発展にむけて今後の課題や目標についてディスカッションを行います。

企画2

多職種連携「連携にスタンダードはありません!皆で創ろう『地域のカタチ』」

9月4日(土)14:30~16:00

完全オンライン開催に変更となりました

地域住民が安心して最期まで暮らすことが出来る環境整備の一環として医療・介護・福祉等の関係者が、各地域で多職種連携強化を目指して活動しています。活動内容や課題、今後の目標等について各地域の担当者が登壇し、医療・介護・福祉等の更なる充実にむけたディスカッションを行います。

企画3

摂食嚥下、在宅NST「口腔ケアと食事介助だけで食べられますか?」

9月4日(土)14:30~17:30

完全オンライン開催に変更となりました

在宅で摂食嚥下障害に対応している多職種から発表頂いた後に、東京医科歯科大学高齢者歯科学准教授戸原玄先生に総括も含めて教育講演頂きます。セッションの前には摂食嚥下障害を体感する実技セミナーも予定しております。

企画4

スピリチュアルケア「緩和ケアにおけるスピリチュアルケア～死と向き合う～」

9月4日(土)14:30~16:00

完全オンライン開催に変更となりました

末期がんなどで生きる時間が限られた方はどのように死と向き合っていくのか?身体的苦痛以外の死への恐怖や死への疑問について我々医療・介護従事者はどのように向き合っていますか?スピリチュアルな関りについて専門職を交え死生観などについてディスカッションし気づきを得たいと思います。

企画5

ケア☆カフェ@地域フォーラム「秋田」 中止になりました

9月4日(土)14:30~17:30、9月5日(日)9:30~12:30 / 3Fミュージック工房

ふだんの在宅ケアで気になっていること、知りたいことがありませんか? "ケア☆カフェ" は、いろいろな職種の方と情報を交換し、顔の見える関係づくりと対話の場です。音楽の流れるカフェのような雰囲気の中で飲み物とお菓子を片手にテーマに沿った対話を楽しみましょう。お気軽にお立ち寄りください。

企画6

福祉施設での取り組み「高齢化のトップランナー！革命戦士達の挑戦」

9月4日(土)16:00~17:30

完全オンライン開催に変更となりました

秋田県の高齢化率は2025年に39.5%に達し、全国平均の30.3%を大きく上回る予測となっています。また、国の将来推計人口で秋田県は2045年に高齢化率が全国で唯一50%を超えると公表されました。このような状況の中で介護に携わる人たちの現状や課題は何なのか、それを解決するために取り組んでいる事例等についてディスカッションを行います。

企画7

訪問薬剤管理、ポリファーマシー

「“アンサング”だっていいじゃない。どんどんやろうぜ薬剤師!!」

9月4日(土)16:00~17:30

完全オンライン開催に変更となりました

現時点で地域医療への薬剤師の関与は未だ十分とは言えず、「かかりつけ薬剤師」「ポリファーマシー」「薬薬連携」「24時間対応」「在宅緩和ケア」等、取り組むべき課題は沢山あります。地域性や勤務形態の異なる複数の薬剤師によるディスカッションを行います。

企画8

医歯薬連携・ICT「ホンネで語ろう医歯薬連携～地域のかかりつけを目指して～」

9月5日(日)9:30~12:30

完全オンライン開催に変更となりました

質の高い在宅医療提供には医科・歯科・薬科の連携は不可欠です。その連携強化・病診連携強化・ICT活用について様々な場で議論や取組みが始まっています。それぞれの立場から、現状・課題・今後の目標等について現場を重視したディスカッションを行います。

企画9

秋田県での取り組み

「『その人らしさ』に寄り添う為に多職種ができることとは」

9月5日(日)9:30~12:30

完全オンライン開催に変更となりました

人口減少・少子高齢化等多くの課題を抱える秋田県は、今後地域のコミュニティの維持さえも難しくなっていきます。難しい状況においても『ALL 秋田』で、高齢者が住み慣れた地域でその人らしさを保ちながらの生活を目指しています。事例を用いてその活動を紹介しながら、ディスカッションをすすめます。

企画10

災害対策「これから起こる災害に備える」

9月5日(日)9:30~11:00

完全オンライン開催に変更となりました

東日本大震災の中で約10年が経ち、被災地域では医療・介護・福祉の様々な課題が顕在化しました。全てのケア従事者が経験した"2011.3.11"と"その後"を振り返り、対話します。これから起こる災害に備え、次代に伝えることができればと考えております。

企画11

小児在宅、医療的ケア児、障がい福祉

「知ってほしい！見てほしい！僕たち私たちの暮らし」

9月5日(日)9:30~12:30

完全オンライン開催に変更となりました

2016年に児童福祉法と障害者支援法が改正され、小児在宅医療や重症心身障害児の生活環境整備に注目が集まっています。現状・課題・今後について、地域で本人や家族をどのように多職種で支援していくべきかを共に考える場所にしていきます。

企画12

リハビリテーション「あなたが病気になって介護が必要になったら…

～例えば、こんなふう在宅で生活している人がいます～」

9月5日(日)11:00~12:30

完全オンライン開催に変更となりました

これまで、あまり知らなかった・よくわからなかったリハビリ専門職と話してみませんか？障がいの程度に関わらず、そのような希望を実現している方々を紹介し、要介護状態での在宅生活を具体的にイメージしていただきます。

企画13

市民公開講座「見守り支え合う地域社会」

9月5日(日)13:00~16:00

完全オンライン開催に変更、劇団の出演は中止となりました。

東京都新宿区での訪問看護師、「暮らしの保健室」での患者支援で活躍されている秋山正子さんにご講演いただく予定です。多職種連携をテーマにした劇団による劇にも注目です。それらを踏まえたパネルディスカッションで多職種連携を深めます。

◎座長 市原利晃(フォーラム大会長 秋田往診クリニック)

セッション概要

この講演では、これから進む高齢化を乗り越えるために国は何を考え、今後どのように対応するつもりなのか、厚生労働省の立場からお話しいたします。

演者：佐々木昌弘

厚生労働省 大臣官房 厚生科学課 課長

(平成6年秋田大学医学部卒、同10年秋田大学医学部大学院博士課程修了)

厚生労働省は昨年の白書で、未来がどういう社会に変容していくのか、人口の動向を中心に見通しを示した。その中で、「今後は、高齢者数の伸びの鈍化と64歳までの人口減少の加速により、高齢化率の伸びが鈍化し、人口全体が減少する」と示している。

ただこれが、「あんべいい未来」となるか否かは、我々の手に委ねられている。予測ができているのに対応しないのは、将来を担う子ども達に顔向けできないことだとすら演者は考えている。

我が国の人口は13年前の平成20年をピークに減少に転じているが、今後、その減少の幅が大きくなると見込まれている。秋田で起きていたことが、全国で起きているのである。その背景には、高齢者数の伸びの鈍化と64歳までの人口減少の加速がある。昨年(令和2年)以降5年ごとの推計人口増減率を年齢階級別に見ると、65歳以上の増加率の幅よりも20~64歳の減少率の方が大きくなっていく。

これを高齢化率の推移で見ると、大会長や演者が大学3年生だった31年前の平成2年に12.1%であった我が国の高齢化率は令和元年までの間に16.3ポイント上昇して28.4%に達し、平成の時代は急激な高齢化が進行した30年間であった。他方、演者が担当する国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口(平成29年推計)」によれば、約20年後の令和22年の高齢化率は35.3%と推計され、令和元年からの上昇は6.9ポイントにとどまると見込まれている。結果、20年後には20~64歳人口が人口全体の半分程度までに減少すると推計されている。

また、高齢化率の伸びは鈍化するものの、十数年後の令和17年までは、85歳以上人口の大幅な増加が続くことがわかる。85歳以上人口の全人口に占める割合は平成2年には1%未満だったが、一昨年には約5%、約20年後には10%近くに達する。

さらに、死亡数は年々増加しており、令和22年には、平成元年の2倍を超える水準(約168万人)と推計される。この間、半世紀である。

参加者の多くは、人口構成を人口ピラミッドと習い、実際にそのような形であった。日本は戦後、昭和22-24年頃と46-49年頃の2回ベビーブームがあった。「団塊の世代」と呼ばれる前者は既に高齢期に入り、後者は今年から順次、50歳になる。日本人口の動向は、全国的にはこれまでのところ、国際的な人口移動による社会増減による影響は小さく、自然増減の及ぼす影響が大きい。

平均寿命は、これまでの30年間で約5年以上伸び、今後の20年間でも約2年伸びると見込まれている。

合計特殊出生率は、第二次ベビーブーマー最後の昭和49年に当時の人口置換水準を下回って以降は低下傾

向にあり、平成2年には前年の合計特殊出生率がひのえうまの昭和41年を下回り、「1.57ショック」と言われた。その後も低下傾向は続き、上記の昭和49年生まれが31歳となった平成17年には、過去最低の1.26を記録した。以降は緩やかな上昇傾向にあったが、ここ数年微減傾向にあり、同じく45歳となった令和元年における出生数は87万人と過去最小となった。

未婚率は男女ともに、どの年齢階級においても長期的に上昇し、婚姻年齢は、平成元年から30年後には、初婚夫で2.7歳、初婚妻で3.8歳上昇した。晩婚化は出産年齢の高齢化につながっており、例えば第一子の出生時の母の平均年齢を見ると、平成2年では27.0歳であったが平成元年には30.7歳となった。

こうしたデータを背景に、どのような政策が展開されていくのか。今年介護報酬改定があり、医療法や医師法の法改正があり、年明けには診療報酬改定が予定されている。また、新型コロナウイルスにより、社会の在り方そのものも変わってきた。

ちょうど東京オリンピック・パラリンピックが閉会を迎えつつある中で、当日は皆さんと対策を議論したい。



企画1 東北地方での取り組み「明日の在宅医療－東北の未来を見据えて－」

9月4日（土）14:30～17:30

◎座長 最上希一郎（医療法人栄山会 山王胃腸科）

木下朋雄（医療法人社団曙光会 コンフォガーデンクリニック）

セッション概要

高度に専門分化した医療体制だけでは対応の難しい超高齢化社会を眼前に見据え、介護保険制度が導入され、24時間往診体制整備が始まってから20年が経過し、この東北の在宅医療はすでに高齢化社会の最前線を支える役割を担っています。各地では、すでにその先を見据えた取り組みが始まっています。それぞれの地域に合わせた活動について共有し、さらなる発展にむけたディスカッションを行います。

演者

小倉和也

医療法人 はちのへファミリークリニック

木村幸博

医療法人葵会 もりおか往診ホームケアクリニック

奥山慎一郎

医療法人社団侑眞 訪問診療クリニックやまがた

最上希一郎

医療法人栄山会 山王胃腸科



企画2 多職種連携「連携にスタンダードはありません！皆で創ろう『地域のカタチ』」

9月4日（土）14:30～16:00

◎座長 岡部留美（社会医療法人青嵐会 第一病院訪問看護ステーション）
吉澤明孝（医療法人社団和顔会 要町ホームケアクリニック）

セッション概要

地域住民が安心して最期まで暮らすことが出来る環境整備の一環として県内各地域の医療・介護・福祉等の関係者が、多職種連携強化を目指して活動しています。各地域の担当者が登壇し、それぞれの活動内容や課題、今後の目標等について発表し、更なる多職種連携の充実にむけたディスカッションを行います。

演者

高橋隼人

AtHome～介護と医療と在宅をつなぐ会～

株式会社ピー・アンド・エス いずみメイプル薬局

斉藤進

ケア・メイトのしろ

能代山本訪問看護ステーション

武田晃明

ケア・メイトのしろ

ケアサポートオフィスやどり木

長堀孝子

由利本荘にかほ在宅連携会議

SOMPO ケア由利本荘



企画3 摂食嚥下・在宅 NST「口腔ケアと食事介助だけで食べられますか？」

9月4日（土）14:30～17:30

◎座長 谷合久憲（たにあい糖尿病・在宅クリニック）
田城孝雄（放送大学 教養学部 教養学科）

セッション概要

「食べられない」ときに「口腔ケア」や「食事介助」を思い浮かべる方が多いと思いますが、他にできることはないでしょうか？病院や在宅医療にかかわる4名の看護師からの取組みをお話し頂いた後に、『食支援プロジェクト』を推進する稲城台病院の芳村直美先生より病院から地域へひろがる食支援のお話しを頂き、最後に東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科の戸原玄先生に教育講演を頂きます。

演者

丹藤淳

社団法人慈恵会 青森慈恵会病院

高橋恵美子

石巻赤十字病院

石黒由希子

男鹿みなと市民病院

藤沢武秀

ごてんまり訪問看護ステーション

芳村直美

特定医療法人研精会 稲城台病院

戸原玄

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科



企画4 スピリチュアルケア「緩和ケアにおけるスピリチュアルケア～死と向き合う～」

9月4日（土）14:30～16:00

◎座長 安藤秀明（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻）

平原佐斗司（東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所）

セッション概要

末期がんなどで残された時間が限られた方は、どのように死と向き合っていくのか？身体的苦痛以外の死への恐怖や死への疑問について医療・介護従事者はどのように向き合っているのか？

仏教における死生観について講演を行った後、「現場で遭遇するスピリチュアルペインとその向き合い方」をテーマに看取りに関わる中で遭遇した患者さんの心の苦悩についてどのような内容でどのように対応したか事例を通してそれぞれの経験の共有、対応の気づきを得る。

演者

萱森真雄

浄土真宗 専光寺

金田英樹

一般社団法人能代山本郡医師会立 能代山本医師会病院

伊藤百子

SOMPO ケア秋田仁井田

菊地望

SOMPO ケア秋田仁井田

木村真紀子

社会福祉法人桜丘会 訪問看護ステーション幸



企画5 ケアカフェ、ACP ケア☆カフェ@地域フォーラム「秋田」

9月4日（土）14:30～17:30

9月5日（日）9:30～12:30

新型コロナ感染対策のため企画中止



企画6 福祉施設での取り組み「高齢化のトップランナー！革命戦士達の挑戦」

9月4日（土）16:00～17:30

◎座長 綿貫哲（社会福祉法人あけとおり会）
城谷典保（新横浜在宅クリニック）

セッション概要

秋田県の高齢化率は、2025年に39.5%に達し、全国平均の30.3%を大きく上回る予測となっている。また、国の将来推計人口で秋田県は2045年に高齢化率が全国で唯一50%を超えると公表された。

このような状況の中で介護に携わる人たちの現状や課題は何なのか。それを解決するための取り組み、そして我々の向かう未来について、秋田県を代表するイノベーター3人が語り合う。

テーマ：「介護×『 』」～新たな価値観とは～

演者

阿波野聖一

株式会社あきた創生マネジメント

松本慶一

企業組合ほっと

小原秀和

社会福祉法人あけぼの会



企画7 訪問薬剤管理「“アンサンブ”だっていいじゃない。どんどんやろうぜ薬剤師！！」

9月4日（土）16:00～17:30

◎座長 安藤秀明（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻）

森清（社会医療法人財団大和会 東大和ホームケアクリニック）

セッション概要

現時点で地域医療への薬剤師の関与は未だ十分とは言えず、「かかりつけ薬剤師」「ポリファーマシー」「薬薬連携」「24時間対応」「在宅緩和ケア」等、取り組むべき課題は沢山あります。地域性や勤務形態の異なる薬剤師から地域医療への取り組み状況や課題について発表を行った後、他職種から薬剤師への期待や課題を提案してもらいます。更にそれぞれの発表や提案を踏まえて、「多職種から信頼を得られる薬剤師とは」「地域医療に関わり、薬剤師として貢献出来る事」についてディスカッションを行います。

演者

高橋隼人

株式会社ピー・アンド・エス いずみメイプル薬局

八鍬紘治

日本調剤株式会社 東北支店 在宅医療部

加賀谷英彰

秋田大学医学部附属病院 薬剤部

伊藤美穂子

能代厚生医療センター 地域医療連携室

木村真紀子

社会福祉法人桜丘会 訪問看護ステーション幸



企画8 医歯薬連携・ICT「ホンネで語ろう医歯薬連携～地域のかかりつけを目指して～」

9月5日（日）9:30～12:30

◎座長 安藤秀明（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻）
谷亀光則（医療法人社団松和会 望星大根クリニック）

セッション概要

質の高い在宅医療提供には医科・歯科・薬科の連携は不可欠です。その連携強化・病診連携強化・ICT活用について様々な場で議論や取り組みが始まっています。それぞれの立場から、現状・課題・今後の目標等について現場を重視したディスカッションを行います。

演者

水谷安男

SOMPO ケア由利本荘

千葉利昭

医療法人千成会 旭北歯科医院

高橋隼人

株式会社ピー・アンド・エス いずみメイプル薬局

伊藤美穂子

能代厚生医療センター 地域医療連携室

谷合久憲

たにあい糖尿病・在宅クリニック



企画9 秋田県での取り組み『その人らしさ』に寄り添う為に多職種ができることとは」

9月5日（日）9:30～12:30

◎座長 伊藤百子（SOMPO ケア秋田仁井田）
荒金英樹（一般社団法人愛生会 山科病院）

セッション概要

人口減少・少子高齢化等多くの課題を抱える秋田県は、今後地域のコミュニティの維持さえも難しくなっています。難しい状況においても『ALL 秋田』で、高齢者が住み慣れた地域でその人らしさを保ちながらの生活を目指しています。この企画では、認知症をテーマとして秋田県内の各職種からそれぞれの取り組みを発表し、更に認知症についての講演を行います。また、会場内に展示ブースを設け福祉用具等の展示や動画上映も行います。

演者

阿部公一

御所野地域包括支援センター けやき

小田長孝至

株式会社かんきょう

高橋吉信

ケアセンターきらら短期入所生活介護事業所

松岡由紀子

株式会社虹の街 秋田営業所

三浦久美子

SOMPO ケア秋田仁井田

菅原魁人

株式会社 LibertyGate（アシスタ）

大田秀隆

秋田大学高齢者医療先端研究センター



企画10 災害対策「これから起こる災害に備える」

9月5日(日) 9:30~11:00

◎座長 金田英樹(一般社団法人能代山本郡医師会立 能代山本医師会病院)
古屋聡(山梨市立牧丘病院)

セッション概要

東日本大震災の中で10年が経ち、被災地域では医療・介護・福祉の様々な課題が顕在化しました。全てのケア従事者が経験した“2011.3.11”と“その後”を振り返り、対話します。これから起こる災害に備え、次代に伝えることができると考えております。

演者

未定



企画11 小児在宅、医療的ケア児、障がい福祉「知ってほしい！見てほしい！僕たち私たちの暮らし」

9月5日（日）9:30～12:30

◎座長 八代美千子（多機能型重症児者デイサービスにのに）

鶴岡優子（つるかめ診療所）→変更予定あり

セッション概要

2016年に児童福祉法と障害者支援法が改正され、小児在宅医療や重症心身障害児の生活環境に注目が集まっています。現状・課題・今後について、地域で本人や家族をどのように多職種で支援していくべきかを共に考える場所にしていきます。

演者

豊野美幸

秋田県立医療療育センター

八代雄市

多機能型支援センター第二聖和

豊澤悦子

放課後デイサービス太陽

鎌田陽子

多機能型重症児者デイサービスにのに

秋田市障がい福祉課

利用者家族



企画12 リハビリテーション「あなたが病気になって介護が必要になったら・・・

～例えば、こんなふう在宅で生活している人がいます～

9月5日(日) 11:00～12:30

◎座長 ジョーンズ佳子(学校法人コア学園 秋田リハビリテーション学院)

太田秀樹(医療法人アスミス おやま城北クリニック)

セッション概要

これまで、あまり知らなかった・よくわからなかったリハビリ専門職と話してみませんか？

リハビリテーション専門職はどんな支援ができるのか、どんな時に、どこに相談すれば支援を受けられるのかを知っていただきたいです。

「病気になっても、障がいがあっても、住み慣れたところで安全に暮らしたい。自分らしく生き生きとした生活したい。」障がいの程度に関わらず、そのような希望を実現している方々を紹介し、要介護状態での在宅生活を具体的にイメージしていただく機会を作ります。

演者

板垣美紀

中通リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション

松橋英則

中通訪問看護ステーション

大塚佳徳

男鹿地域リハビリステーション

鎌田宏之

老人保健施設 たらちね

原田大河

中通リハビリテーション病院

木内麻美子

由利本荘医師会病院



企画13 市民公開講座「見守り支え合う地域社会」

9月5日（日）13:00～16:00

◎座長 小野宏志（医療法人社団心 坂の上ファミリークリニック）
和田忠志（医療法人実幸会 いらはら診療所）

セッション概要

東京都新宿区での訪問看護師、「暮らしの保健室」での患者支援で活躍されている秋山正子さんにご講演をいただきます。更に多職種連携をテーマにした多職種のパネルディスカッションを行う予定です。

演者

秋山正子

認定 NPO 法人マギーズ東京

市原利晃

医療法人社団隆仁会 秋田往診クリニック

木村真紀子

社会福祉法人桜丘会 訪問看護ステーション幸

伊藤百子

SOMPO ケア秋田仁井田

伊藤美穂子

能代厚生医療センター 地域医療連携室

升屋志保

医療法人社団隆仁会 秋田往診クリニック

齋藤淳

株式会社ピー・アンド・エス 在宅医療連携室



グラフィック・レコーディング（全企画共通）

「Akita Graphic Recorders！（秋田グラフィックレコーダーズ）」

概要

グラフィック・レコーディング（以下グラレコ）とは、文字・記号・アイコンなどを用いて記録する手法です。会議や打ち合わせなど、意見やアイデアを出し合う場などで活用され、秋田市の多職種連携グループ「AtHome～介護と医療と在宅をつなぐ会～」では、2015年から毎月の事例検討会にてグラレコが導入されています。話し合いをリアルタイムで可視化することにより内容の整理や理解につながり集中できる、参加者の発言を促し場の活性化に繋がる、記録に残すことで多くの人と共有しやすくなり、などの効果があります。今回の地域フォーラムでは、各企画にグラフィック・レコーダーが配置されております。秋田の抱える課題、さまざまな事例、進みゆく未来を可視化して、グラレコが皆様の学びの一助となるよう努めます。宜しくお願いします。

担当レコーダー

平元美沙緒

齊藤夏帆

佐藤まどか

「Akita Graphic Recorders！」

秋田公立美術大学 学生有志

「秋美グラレコ協力隊」



協賛企業等一覧

日本在宅医療連合学会第3回地域フォーラムを開催するにあたり、下記の企業、団体様より多大なるご協力とご支援を賜りました。

ここに芳名を記し、深甚なる感謝の意を表します。

杏林製薬株式会社

秋田大学血液・腎臓・膠原病内科講座

医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック

株式会社グレイスコール訪問看護ステーションいいじま

矢野薬局

有限会社ケアサービスおちあい有料老人ホーム彩べえいいじま

秋川塗装工業株式会社

有限会社八橋薬局 やばせ薬局

有限会社みどりケアサービス みどりさわやか薬局

株式会社鈴木空調機器

株式会社 A.S.F ショートステイいちご

富士フィルム B I 秋田株式会社

株式会社ヤマタクリエイト秋田ナーシングホーム城南

(株) ビリーヴイン

医療法人栄山会 山王胃腸科

医療法人正観会 御野場病院

株式会社 相場商店

日本調剤株式会社

医療法人正和会

医療法人千成会 旭北歯科医院

株式会社ツムラ

株式会社ピー・アンド・エス

株式会社メディハーツ すずらん薬局

株式会社ルーク グループホームソフトハンド

株式会社いわま薬局

有限会社トゥー・ワン・コア卸町薬局

株式会社きららホールディングス

訪問看護ステーション心音

秋田パッケージ株式会社

有限会社 斎藤昭一商店

株式会社 FP パートナー秋田支社

医療法人青葉会 たむら船越クリニック

半田薬局

アカイファーマシーINC さくら薬局

医療法人 小野崎医院

有限会社ケアランドあきた

能代山本医師会病院

東北新潟歯科用品商共同組合

秋田県訪問看護ステーション協議会

日本在宅医療連合学会第3回地域フォーラム

大会長 市原利晃

